



新型コロナウイルス感染症が拡大する中、4月1日付で梶田久夫前院長の後任として着任いたしました北口美弥子です。5月末「緊急事態宣言」は解除されましたが人と人が接触する機会が増し、感染リスクも高まります。有効なワクチンや治療薬が開発されていない現状において引き続き感染拡大防止の取り組みを行うと共に第2波、第3波に向けた準備を進めているところです。

さて6月に入り、庭先には紫色のアジサイが梅雨の雨に打たれ鮮やかに咲いています。本来でしたら夏に向け、様々な取り組みや催しの準備を始めるのですが今年度は残念ながら中止や、延期、内容変更をしなくてはならない状況です。その中でも職員は「少しでも子どもたちに楽しんでもらいたい」「保護者との関係を大切にしたい」と様々なアイデアを出して計画しています。

すみれ乳児院は旭区に移転し様々な方々の支えのもと、秋には4年目を迎えようとしています。この間も多くの方々に支えて頂きました。地域の方からの手作りマスクの寄贈。又遠方の方が「昔、すみれ乳児院にボランティアをしたことがある。大変だろうと思って…」との事で連絡を下さり、マスクやおもちゃ等を送って頂く事がありました。又、地域や関係者の皆様からも暖かい励ましの言葉を頂き「支えて頂いているな」と実感しております。

先の見えない中、子どもたちの命と健康を守る日々は緊張度の高いものです。その中ですやすや眠る子どもたちの姿や、くったくのない笑顔に職員は「よし明日も頑張ろう」と力をもらっています。引き続き職員一同、力を合わせて頑張っていきますので今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

すみれ乳児院 院長 北口 美弥子



子どもたちのようす



すみれ乳児院では新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年とは少し違った日常を送っています。4月に予定されていたお花見は玄関や光庭、屋上と3グループ分かれて取り組みました。前日から「明日はお花見するよ」と伝えると「明日お花見？」と何度も繰り返し聞いてとても楽しみにしている様子の子もたちでした。当日部屋で職員が卵焼きやおにぎりを作っていると、「なに作ってるの？」と背伸びをしてキッチンのをぞいでいました。外で食べるご飯はとてもおいしかったようではくぱくとにこにこ笑顔でたくさんおかわりしてくれました。

お散歩に行く前に「今日はどこ行こうか」と子どもたちと相談をして行くところを決めています。散歩中にバスを見つけると「おーい」と手を振り運転手さん



がライトをチカチカさせて返事をしてくれることもあります。それを見て「チカチカ光ったなー」「バス乗りたいね」などとおしゃべりをしています。

また緑地公園に行くと、きれいなチューリップやマリーゴールドが咲いているのを見つけ「お花咲いてる!」「きれいやね」と教えてくれます。お花にテントウムシが付いているのを見つけ「これは? (これは何?)」と聞き「テントウムシだよ」と教えると、その後もテントウムシを見つけるたびに「テントウムシ!」と教えてくれます。テントウムシを手に乗せてあげると平気な子もいればびっくりして泣き出してしまいう子もいました。

緑地公園には馬がいるので馬を見に行くこともあります。行く道で「お馬いるかな?」「暑いからねんねしてるかな」と楽しみにしている子どもたちです。これからどんどん暑くなってきますが、水分補給をこまめにとりながら、元気に楽しく子どもたちと過ごしていきたいと思います。

ももいろグループ：門川 紗季



Instagramはじめます



すみれ乳児院では近くの地域にお住まいのご家族対象に、母と子の教室とマタニティサロンを開催してきました。しかし今年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、母と子の教室は開催時期未定の延期、3年目を迎える予定であったマタニティサロンは開催中止と決めました。

これから、地域の子育てサロンや一時保育など安心して集える場所の休室・・・と子育て世帯も孤立化が進むことが懸念されます。そのため違ったかたちで子育て世帯を応援する方法はないか?と検討を重ねています。今の時代 SNS での情報の発信や収集が主流になっています。ホームページを活用できていないという問題を解消するために、定期的に内容更新していく計画を立てました。また既存のホームページのフォーマットを大きく変えることができないという課題もあり、Instagramの開設に向けて準備を進めています。Instagramでは、写真をメインに説明文はすこし・・・と気軽に訪れる場所にしていきたいと考えています。

Instagram開設した際には、またこの紙面でお知らせいたしますので、そのときはぜひのぞいてみてくださいね。

家庭支援専門相談員：原田 裕貴子



年中保育「つぼみ」



すみれ乳児院では、0歳～3歳までの子どもたちが生活しています。異年齢で過ごす中で、大きい子が小さい子のお世話をしたり、小さい子が大きい子のマネをしたりと、子どもたち同士で育ちあう姿があります。良い面もたくさんありますが、同じ月齢の子どもたち同士で、一緒に遊びあう経験も大切です。そこで、すみれ乳児院には各ホームの年長児が平日の午前中を専任職員と一緒に過ごす、年長保育「ゆりぐみ」があります。

「ゆりぐみ」を取り組む中で、年長児だけでなく年中児もあそびを充実させ、同じ月齢の子どもたち同士の横の繋がりが大切と考え、年中保育「つぼみ」を5月から始めました。

つぼみ専任の職員が中心となり、平日の午後に各ホームの年中児が集まり月齢の近い子どもたち同士、楽しく遊びに参加しています。

わらべ歌や手遊びなどのふれあい遊びや、大人のひざの上にもたがってお馬さんごっこをしたり、大人とゆっくり遊びました。楽しくて「もういっぱい！」と何度もおねだりしてくれる子どもたちでした。

お絵かきでは、子どもたちの描く絵を見ながら、何を描いたのかゆっくりお話をしながら過ごしました。



丸をたくさん描き、その丸ひとつひとつに「これは〇〇」と好きなキャラクターや職員の名前をつけたり…思い思いにお絵かきをしました。

製作では、そら豆をつくりました。製作する前に本物のそら豆に触れ、製作を始めました。豆に色塗りをした後、豆をさやの中に入れてたり出したりして遊びました。この日の夕食はそら豆のご飯でした。製作と食事が繋がれば、楽しい経験になるのでは…と考えた製作でした。

まだ始まったばかりの「つぼみ」ですが、保育を通して年中の子どもたちの遊びの充実と、一緒に遊べるお友だち作りができればと思います。

ゆり・つぼみ職員：仲 佳子

衣替えしようね！



豊かな生活の土台となる“衣・食・住”の衣類について、子どもたちのこだわりや思いを大切にしながら、着心地の良い服を年間を通して用意できるよう子どもたちの個別の衣類を担当職員が準備しています。

子どもたちは自我がめばえ、物にも愛着がわくようになり、衣類にもこだわりが生まれてきます。お出かけ時に好きな衣類を買いに行く機会もつくっており、自分で選んだ衣類はお気に入りの一枚になっています。

先月、子どもたちは衣替えをしました。「去年のTシャツ今年もきれるかなあ？」と合わせてみるとTシャツは小さくなっており、「〇〇くん大きくなったんやなあ〜」とにっこり。子どもの成長を感じられた瞬間でもありました。お気に入りの服を大事にしながら子どもも職員も夏を待ち遠しく感じています。

衣類係：辻本 さゆり



いただきます～す！



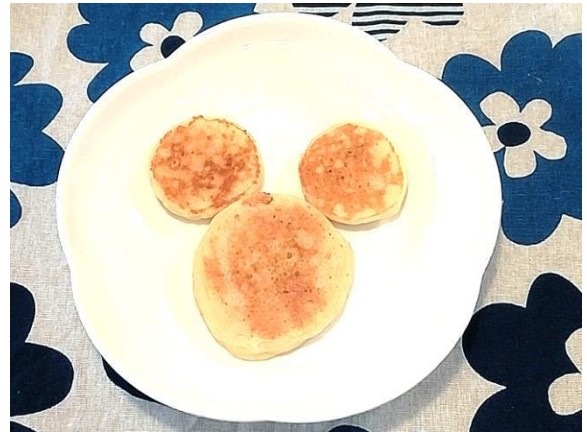
材 料 (1人前)

ホットケーキミックス	100g
絹ごし豆腐	150g
油	少々

作 り 方

- ① 絹ごし豆腐をボウルに入れ、ペースト状になる様にかたまりをつぶしながら混ぜる。
- ② ①のボウルに分量のホットケーキミックス粉を入れ、混ぜ合わせていく。
- ③ フライパンを弱火にかけて、温まってきたら油を敷き、生地を落とし焼いていく。
(生地はあまり柔らかくならないので、スプーンを使うとフライパンに落としやすいです)
- ④ 2～3分後にひっくり返したら裏面も2～3分焼き、両面がきつね色に焼けたら完成！

お豆腐ホットケーキ (ミッキー Maus風)



☆豆腐の代わりにヨーグルトで生地を作ると、少し風味の変わったホットケーキにもなります☆

調理師：小園 麻美



後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

- *個人会員 1口 3,000円
- *団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2020年度の更新の手続きを宜しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援してくださる方は、すみれ乳児院 (06-6958-6066) まで。



これからの3ヵ月の行事予定

- ・7月 11日(土) 納涼交流会
- ・7月 きいろグループ園外保育
- ・8月 ももいろグループ園外保育
- ・8月 夕食パーティー

保護者の方には後日詳しい日程をお知らせします。



【編集後記】

新型コロナウイルスが流行し、例年通りとはいかない毎日ですが、院内でピクニックをしたり、楽しく過ごせるよう工夫しています。

すみれ乳児院だよりを通して子どもたちの明るい楽しい気持ちが伝わればと思います。

(袖山)